

女男岩遺跡出土台付家形土器



指定区分	県指定重要文化財(考古資料)
読みかた	みょうといわいせきしゅつどだいつきいえがたどき
所在地	倉敷市中央 公益財団法人 倉敷考古館
指定年月日	平成29年3月7日
解説	弥生時代後期後半の墳墓遺跡から出土した土器。台脚の上に寄棟の家を作り付ける。家形部分は建物の柱や屋根の構造も忠実に表現されている。全体が復元できるものとしては、現在見つかった唯一の台付家形土器であり、古墳時代前夜における葬送儀礼のあり方を解明する上でも重要な資料である。
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩約15分
公開状況	公開(展示状況については施設(倉敷考古館)に確認)
設備	
備考	